



# 共通テスト ズバリ！的中

地学基礎

## 梅雨前線の形成と冷夏に関する問題

### 共通テスト

#### 第2問 A 問1

問 1 次の文章中の **ア** ~ **ウ** に入る語の組合せとして最も適当なものを、後の①~④のうちから一つ選べ。 **107**

次の図1は梅雨期の天気図である。 **ア** 高気圧と太平洋高気圧(笠原高気圧)の間に前線が形成されて日本付近に停滞するため、雨や曇りの日が多くなる。太平洋高気圧が優勢となって前線が北上すると梅雨が明ける。

**ア** 高気圧の勢力がいつまでも強い場合は梅雨明けが **イ**、東日本の太平洋側では **ウ** になりやすい。

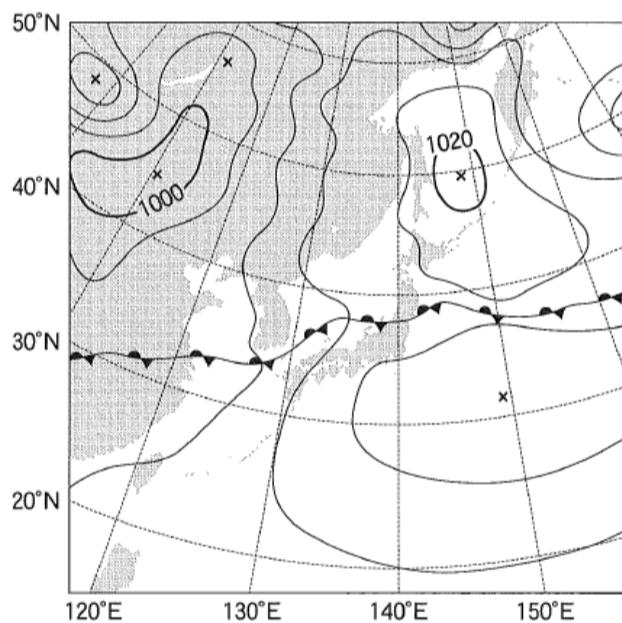


図1 梅雨期の天気図

数値の単位は hPa。×印は低気圧または高気圧の中心位置を示す。

	ア	イ	ウ
①	シベリア	遅れ	冷夏
②	シベリア	早まり	暑夏
③	オホーツク海	遅れ	冷夏
④	オホーツク海	早まり	暑夏

### 河合塾

#### 第3回 全統共通テスト模試 地学基礎 第2問 B 問3

B 地上天気図に関する次の問い合わせ(問3・問4)に答えよ。

次の図2は、1993年7月21日の地上天気図である。この日のように、**ア** 高気圧から冷たく湿った **イ** の風が北海道～東北地方の太平洋岸に吹き込む日が多い夏には、北日本で冷害が発生しやすい。この風を「やませ」といい、高度が低い層雲や霧がやませに伴って発生し、日射が遮られて稻の生育に悪い影響が出る。

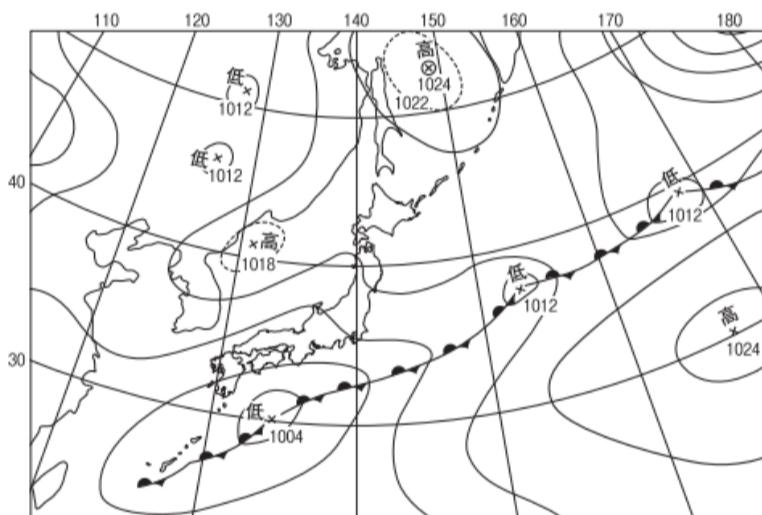


図2 1993年7月21日の地上天気図

問 3 文章中の **ア**・**イ** に入る語の組合せとして最も適当なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 **10**

	ア	イ
①	オホーツク海	北東
②	オホーツク海	南西
③	太平洋	北東
④	太平洋	南西

共通テストでは、オホーツク海高気圧の勢力が強いと冷夏になることが問われているが、第3回共通テスト模試では問題文の方にそれが書かれているので、河合塾の模試を受けていれば取り組みやすかったであろう。